

会 議 録

会 議 名	令和7年度 野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会 第3回専門部会（医療的ケア児者支援部会）
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	議題 1 令和7年度医療的ケア児等コーディネーター連携会議について（公開） 2 その他（公開）
日 時	令和8年3月10日（火） 午後1時30分から午後2時5分まで
場 所	市役所8階 大会議室
出席委員氏名	上野 友和 白石 直美 石垣 幸子 並木 徹 小林 幸代 水沼 幸恵 新村 秀樹 脇屋 春英 渋谷 かずえ 嘉門 美希 小山田 瑞木 岩澤 文
欠席委員氏名	石山 紀子 杉山 浩志 石井 千賀子
事務局	大月 加奈子（障がい者支援課長） 飯塚 純子（障がい者支援課相談支援係係長） 高倉 千雪（障がい者支援課相談支援係主任主事）
傍聴者	0人
議 事	令和7年度 自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会 第3回専門部会（医療的ケア児者支援部会）の会議結果（概要）は、次のとおりである。
事務局	令和8年3月10日午後1時30分開会。事務局から欠席委員が3名いることを報告した。会議録作成のためICレコーダーを使用し、録音することの了承を得る。
新村部会長	以降、新村部会長が進行した。
事務局	【議題1 令和7年度医療的ケア児等コーディネーター連携会議について】 議題について、事務局から説明を求める。
事務局	令和7年度医療的ケア児等コーディネーター連携会議について報告し、他市町村での取り組みについて説明を行う。

新村部会長	同会議に出席した並木副部会長から補足、感想等あるか。
並木副部会長	<p>各市の取組報告の中で、野田市は現状、これを実施していると示せるものが少なく、今後必要な支援や体制を改めて検討すべきと感じた。災害時は電気自動車活用の実証含む電源確保、在宅酸素等の稼働時間や機器の所在・運搬、避難時の人員確保が課題。他市の先行事例も学びつつ、医療的ケアを要する方の対象者数や資源の調査を進め、野田市で実践可能な取組を検討していくことが必要である。</p>
新村部会長	<p>災害対策に関する報告が多かったようだが、野田市での災害対策の進捗状況について報告願いたい。</p>
事務局	<p>野田市は避難行動要支援者名簿作成の義務化を受け計画を進めてきたが、実効性が低いものとなっていたため、現行計画を一旦白紙として見直しを実施している。名簿を新たに作成するため、名簿登載の同意について、2月末に対象者へ文書を送付した。今後、名簿登載者から個別支援計画を作成していく。医療的ケア児者・移動困難者の支援方法は別途検討し、部会でも意見を得ながら対象等を整理していく。また、4月以降、支援関係者と意見交換の場を設け、運用の実効性向上に努める。</p> <p>以上が直近の予定だが、医療的ケア児者の定義付けや所在把握が不十分なため、今後協力をお願いしたい。</p>
並木副部会長	<p>避難行動要支援者名簿の提供先にある「その他市長が必要と認めた団体」とは具体的にどこかとの相談があった。「名簿が出回ってしまうのでは」という不安があり、名簿提出をためらう人もいる。また、相談支援専門員や関係機関に連絡すれば足りるとして「名簿提出は不要では」と相談されるケースもあるため、提出を推奨すべきか迷う。</p>
事務局	<p>「その他市長が必要と認めた団体」は、基幹相談支援センターや相談支援事業所等を想定し得るが、現時点では検討中。名簿登載への同意書提出については、支援者側に相談があれば提出を推奨してほしい。名簿登載者は個別支援計画作成につながり、自治会・民生委員等の地域支援者と平時から誰がどう支援するかを整理できる。なお、支援者に法的義務や責任を負わせる趣旨ではない。</p>

<p>新村部会長</p>	<p>【議題2 その他】 来年度の議題について意見を伺いたい。</p>
<p>並木副部会長</p>	<p>来年度に向け、医療的ケア児者の実態調査が最優先課題と考える。前回調査は回答の重複や服薬確認まで医療的ケアとして混在するなど課題があったため、他市・県の手法も参考にしつつ、調査方法を部会で整理し人数・所在・支援ニーズを確実に把握したい。あわせて、野田市での実践的な避難訓練を関係者協力のもと実施できないか検討したい。さらに、医療的ケアに関する他部会との合同研修の実施や、特別支援学校で開始される医療的ケア児通学支援事業について県職員から説明を受ける機会があるとよい。来年度の取組は、実態調査を主軸に災害対策・研修を組み合わせ進めてはどうか。</p>
<p>新村部会長</p>	<p>事務局には以上の意見を踏まえて、来年度の本専門部会の運営をお願いしたい。そのほかに意見や質問がないため、以上で本専門部会を終了する。 午後2時5分閉会 以上</p>